

平成30年度 専門学校デジタルアーツ東京

## 自己評価報告

平成31年3月31日

 菅原学園

専門学校 **デジタルアーツ**東京

## 目 次

### 1. 学校の教育目標

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

- (1) . 教育理念・目標
- (2) . 学校運営
- (3) . 教育活動
- (4) . 学修成果
- (5) . 学生支援
- (6) . 教育環境
- (7) . 学生の受け入れ募集
- (8) . 財務
- (9) . 法令等の遵守

## 1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づく教育機関として、多様化、高度化し変遷する産業及び社会構造の変化に対応するデザインや音楽、演劇・情報技術（IT）・ビジネスの各分野に関する理論とその実践的応用の教授を行う。

かかる教育目的の実現により、国家、地域社会ならびに産業の発展に寄与する実務に即応できる人材と自由かつ創造性に富む人間の育成を使命とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の各分野の目指す業界動向を掴み、カリキュラムや教育指導に迅速に取り入れ就職に結びつける。「学内コラボレーション」をより進め、クリエイター・アーティストとしての発想や創造性を豊かにしていくと共に企業との連携による実務体験やインターンシップを通じプロデビューや就職を達成していく。

このような専門教育と並行し人間力の向上として、「挨拶」から始まる社会人としてのルールやマナー・職場におけるコミュニケーション能力を指導する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) . 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

### ①課題

これまで学内における複数学科による作品制作を実施してきたが、より実践的な経験をさせるため企業とのコラボレーションをさらに推進してプロの作品制作を学ぶとともに就職・デビューに活かしていきたい。

### ②今後の改善方策

地元池袋が推進する「豊島区アート・カルチャー都市」構想の中で、作品制作を通じて街づくりに協力していく。また、これまで構築してきた各分野企業との関係も発展させ、授業内外で現場の仕事を経験できる機会を増やし職業意識を高めていく。

③特記事項

豊島区と池袋ルミネとのFFパートナーシップに本校も参加し、アニメ声優学科の学生が「車椅子・ベビーカー」優先エレベータ案内アナウンスを行い、地域に対する社会貢献をすることができた。

(2) . 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

①課題

教育活動に関する情報公開は、紙ベースによる一覧が用意されているが、どこにありどのように見ることができるのか情報が徹底されていない。

②今後の改善方策

教育活動に関する情報（シラバス、教員情報、授業内容等）を、本校ホームページ上での公開に向け準備を進めている。

③特記事項

IT委員会が学園全体のシステムの効率化を図っている。しかしながら、学園全体のシステムが老朽化しており、今後改善が必要である。

### (3) . 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

#### ①課題

教育理念・目標に基づき実践的なカリキュラムにより個々のレベルアップを図っているが、社会人としてのコミュニケーション力やビジネスマナーの不足を感じる学生も多い。マナー教育を充実させ企業が安心して採用できる人材育成が欠かせない。

#### ②今後の改善方策

カリキュラムの充実や特別講座の開催により実践的なビジネス力を磨くと共に、学生全員が就職活動に有効なビジネス能力検定3級の取得をできるよう指導していく。

③特記事項

年2回開催した特別選択講座に対する学生の参加意識も向上し、各講座の参加者も増加した。特に他学科の講座や各業界のプロによる講演では応募多数で締切となる講座もあり、参加者は楽しみながら学んでいる様子が伺えた。

(4) . 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

①課題

業界の特性から企業に籍を置かずフリーランスとして職に就くケースもあり、一般的な就職指導が当てはまらないこともある。学生個々の希望やスキルに合わせ、適切な指導を心掛けたい。

②今後の改善方策

直接指導を行うクラス担任と進路就職を取りまとめるキャリアサポートセンター間の連絡を今以上に密に行い、情報共有を徹底する。求人先の新規開拓も進め、学生の状況に合わせた選択肢を示し対応する。

③特記事項

学校生活においては、さまざまな悩みを抱えた状態で入学をした学生も多く、突然通学が困難になるケースもある。専門のカウンセラーを採用し、クラス担任や本人からの依頼が入り次第、個別カウンセリングを実施している。また、教職員に対するカウンセリングの勉強会も定期的で開催している。

(5) . 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

①課題

新卒採用等、求人状況が改善を見せる中、本校の学生の多くが希望するエンターテインメント業界では高いスキルや人間力を求められる状況は変化していない。技術革新が早い現在、業界ごとに求められるニーズをいち早く教育に取り入れ、知識や技能を習得させていくかが課題である。

②今後の改善方策

常に業界とのパイプを大切に定期的な連絡や訪問等を通じて動向を捉える事が大切である。このため各学科では、講師との意見交換及び企業訪問、学内での説明会等様々な機会を通じて情報交換に努め業界の求めている知識や技能を研究する。

③特記事項

高校等のキャリア教育やスキルアップの為、部活動単位で出張授業が行われている。イラストや声優に関しては高校側でも進路指導に苦心しており、より専門的な授業に触れキャリア形成の一助となるよう推進していきたい。

(6) . 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

①課題

〔 設備については、校舎のエントランス廻りが老朽化しており改修が必要と思われる。  
また、コンピューターも画像ソフト等に対応が難しくなった旧パソコンを最新のコンピュータに更新するのに加えセキュリティ対策をさらに強化したい。 〕

②今後の改善方策

〔 デジタル館のネットワーク環境の向上を図るため、専用線の導入を検討している。  
導入することによりデジタル館各教室のインターネット環境が高速化するだけでなく、アーツ館の環境も安定化する効果も期待される。 〕

③特記事項

〔 健康増進法の改正に基づき、本年7月より学内での喫煙を禁止し、喫煙スペースを撤去することとした。 〕

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

〔 資料請求者やガイダンス参加者等に本校をより理解してもらうため、来校者の動員増を課題としている。早期来校者の継続的な参加を促し、教員との信頼関係を築き出願へと結びつけていきたい。 〕

②今後の改善方策

〔 入学対象者のみならず、保護者にも本校の特長、教育方針をより理解してもらうために、オープンキャンパス（体験入学・学校説明会・AO入学相談会）への同伴を求めていく。さらには内容を充実させ、マンネリ化のない満足度の高いものにしていく。 〕



③特記事項

実際の学校の雰囲気を理解してもらうために、学生サポートを活用している。学校生活等、リアルな声を聞くことができるとともに、リラックスした雰囲気の中で参加することが可能となった。年齢の近い在校生との関係が、良きアドバイスにもなっている。

(8) . 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

〔 特になし。〕

②今後の改善方策

〔 財務に関する情報は、ホームページ上に情報公開している。今後も必要に応じてホームページ上に情報公開していく。〕

③特記事項

〔 特になし。〕

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

「教育課程編成会議」「学校関係者評価委員会」からの提言を実行し、専門教育に関しては一定以上の評価を頂いていると自負している。しかしながら人間教育に関してはSNS等の普及により学生のコミュニケーション力や挨拶力が不足しているとの指摘がある。

②今後の改善方策

現在の学生は、スマホによるコミュニケーションが当たり前となっており、学校側もこのツールを活かしつつ、社会で必要とされる言葉や行動による挨拶、ビジネスルール・マナーの大切さを理解できるよう指導していく。また、さまざまなトラブルに遭遇する可能性についても注意喚起を行う。

③特記事項

個人情報保護では、情報機器のセキュリティは、ウイルス対策ソフトやOSの更新メール監理等で対処されている。  
しかしながら、紙で個人情報が印刷されたものも多く、紙の管理を徹底するとともにペーパーレス化を進めている。